



2022年12月12日

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社

JRE、運転中の太陽光発電所の認定を FIT 制度から FIP 制度に切り替え

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：竹内一弘、以下「JRE」）は 2022 年 4 月 1 日から商業運転している長野県の JRE 長野大町太陽光発電所(以下「当発電所」)の認定について、2022 年 11 月 1 日に、固定価格買取制度（FIT 制度）から FIP（Feed-in Premium）制度※に切り替えました。当発電所は経済産業省資源エネルギー庁が認定した中でも、最も早期に FIP 制度に基づく運転を開始した案件のひとつです。

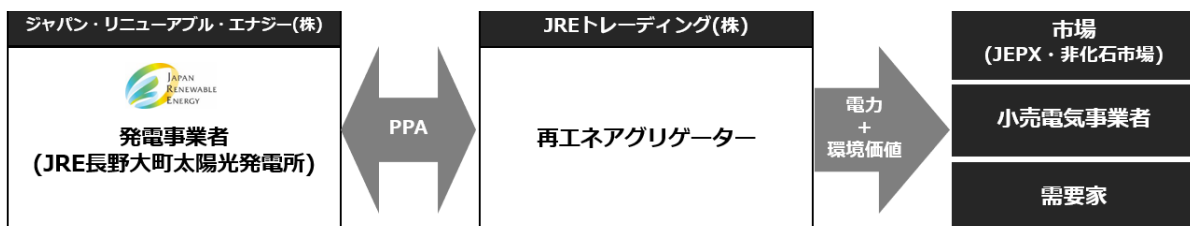
今回、JRE は、100%出資子会社である JRE トレーディング株式会社(本社：東京都港区、代表取締役：中川 隆久、以下「JRET」)と電力購入契約（以下「本 PPA」）を締結し、当発電所の電力を全量 JRET に販売します。本 PPA では FIP 制度への切り替えに伴う追加リスク(発電インバランス※等)を JRET が引き受けるスキームとなっており、JRET が電気を買取り、JRE と毎月精算を行うことによって、電力広域的運営推進機関（OCCTO）からの FIP プレミアム含めた収入が JRE にとっては固定価格になるかのように調整されます。

JRE グループは、早期に FIP 制度における電源運営の実績と経験を重ねることにより、今後、FIP 案件の固定価格引き受けや蓄電池を活用した再エネアグリゲーション分野の事業化など、成長への取り組みを加速してまいります。

※FIP(Feed-in Premium)制度：固定価格で電力を買取る FIT(Feed-in Tariff)制度とは異なり、卸市場等での売電を前提に、売電価格に対して一定のプレミアム(補助金)を上乗せすることで再エネ導入を促進する制度。

※発電インバランス：発電計画値と発電実績の差分

<イメージ図>



【JRE トレーディング株式会社（JRET）について】

再生可能エネルギー市場統合の早期実現に向け、再エネ卸供給・アグリゲーション分野の機能子会社として 2021 年に設立された JRE の 100%出資子会社。

本件に関するお問い合わせ先：

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社

広報 CSR 部

電話：03-6455-4905 e-mail：pr@jre.co.jp

【参考】

JRE 長野大町太陽光発電所の概要

発 電 所 名	JRE 長野大町太陽光発電所
設 備 容 量	2,442.9 kW
年 間 計 画 発 電 量	約 3,500,000 kWh
発 電 所 運 転 開 始	2022 年 4 月 1 日
F I P 切 替 日	2022 年 11 月 1 日
そ の 他	本発電所は、構内にデータセンター設備を併設し、再生可能エネルギー100%のコンピューティングパワーを提供する事業も行っています。

【JRE 長野大町太陽光発電所 写真】



